

(無断転載を禁ず)

かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～
第9回かごしまグランドマスター試験

問1. 鹿児島で発生する地震は3つのタイプに分けられる。これらの地震のタイプについて200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。また、地震の名前は「公式テキストブック」に書かれている地震に限る。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「津波」 「内陸」 「マグマ」

問2. 南北朝時代における薩隅両国の動乱について200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「島津貞久」 「懐良親王」 「御所」

問3. 篠原鳳作、宮原晃一郎に共通する事項ひとつを挙げたうえで、二人について、200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「生誕地」 「文部省唱歌」 「句碑」

問4. 種子島と屋久島の産業の特徴について、200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「土地利用型農業」 「伝統工芸品」 「水」

問5. 以下の問いに答えなさい。

- [1] 次の文は、野間半島など笠沙路の歴史や観光について説明したものであるが、①～⑤の空欄を適切な言葉で埋めなさい。(地名は漢字で正確に記入すること)

平成17年11月に、旧加世田市、坊津町、笠沙町、金峰町、(①)町が合併して(②)市が誕生した。旧坊津町は東シナ海に面し、国道(③)号線沿いに、入りくんだりアス式海岸や東側にそびえる山々など、手つかずの自然が残っている。一方、旧笠沙町は、最高峰(④)岳のふもとに広がり、焼酎造りの伝統を受け継ぐ(⑤)杜氏の里としても有名である。

- [2] 坊津以外の日本三津の2つの地名を記入するとともに、遣唐使、密貿易という言葉を使って、坊津の貿易の歴史を紹介する文章を200字程度(160字以上、240字以内)の文章で作成しなさい。